

# 環境経営レポート2022

対象期間:2022年4月～2023年3月



2023年 8月 21日

エムテックスマツムラ株式会社

# 1. 組織の概要

## 1-1. 会社概要

### (1) 名称及び代表者名

◆ エムテックスマツムラ株式会社 代表取締役社長 戸田 隆

### (2) 所在地

◆ 本社／天童事業所 山形県天童市北久野本1-7-43

◆ 尾花沢事業所 山形県尾花沢市北町2-2-2

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

◆ 責任者 人事総務部 部長 里見 幸久

◆ 担当者 人事総務課 課長 奈良崎 茂文 TEL:023-654-3211

### (4) 事業内容

◆ 天童事業所 ・電子機器装置の開発・設計と製造・販売

◆ 尾花沢事業所 ・半導体デバイスの後工程製造  
・中空プラスチックパッケージの設計、販売  
(製造:株)新庄エレメックス)

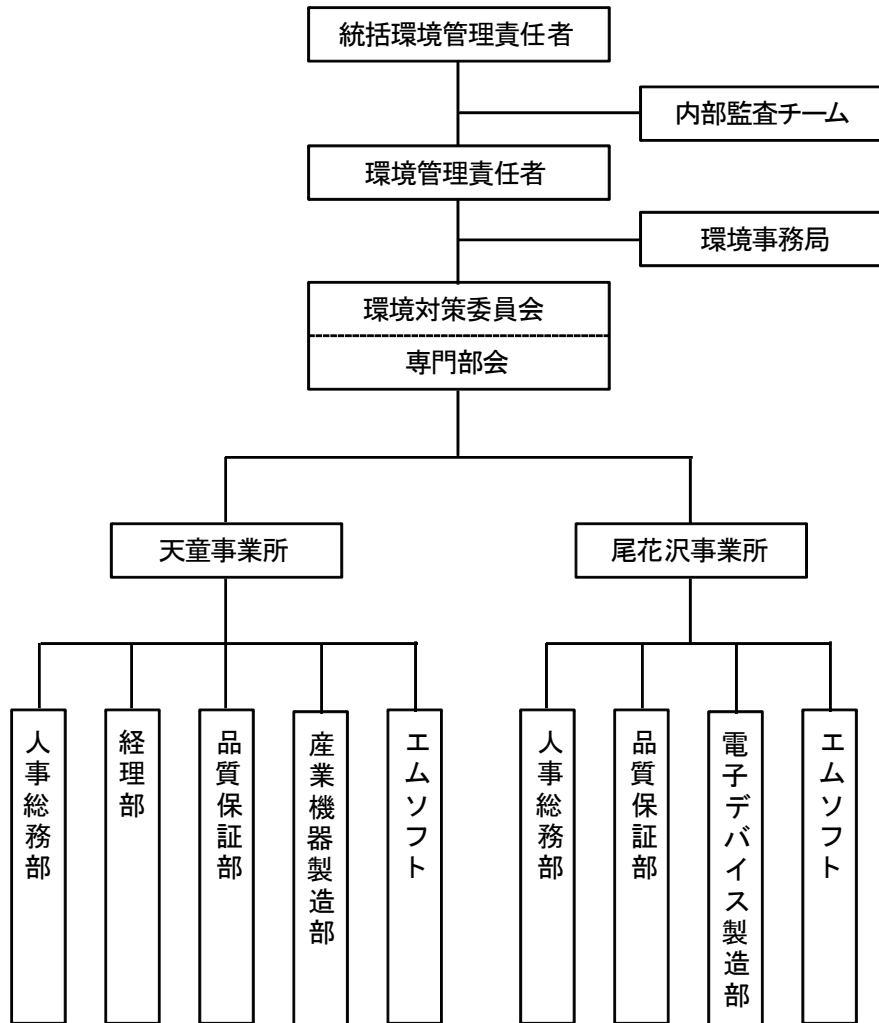
### (5) 事業の規模

2022年度	単位	天童	尾花沢	合計
売上高	百万円	1,382	9,160	10,542
従業員	人	104	156	260
延べ床面積	m2	6,300	8,500	14,800

### (6) 事業年度 5月～4月 (環境活動年度:4月～3月)

## 1-2. 認証・登録の対象組織 ◆エムテックスマツムラ(株) 上記1-1.(2)に同じ

### 1-3. 実施体制



#### 【役割、責任及び権限】

No.	区分	役割・責任・権限
1	統括環境管理責任者	1) 環境経営に関する統括責任 2) 環境経営システムの実施及び管理に必要な経営資源の準備 3) 環境管理責任者の任命 4) 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 5) 環境目標設定の承認 6) 代表者による全体の評価と見直しの実施 7) 環境活動レポートの承認
2	環境管理責任者	1) 環境経営システムの構築、実施、管理 2) 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 3) 環境目標設定の審査 4) 環境活動の取組結果の統括環境管理責任者への報告 5) 環境活動レポートの確認及び地域事務局への送付
3	内部監査チーム	1) 環境に関する内部監査の実施・報告
4	環境対策委員会	1) 環境経営システムの討議及び提案・見直しの審議 2) 環境マネジメントプログラムの審議 3) 環境活動実績の確認・評価 4) 利害関係者等からの情報交換と対応策の審議
5	専門部会	1) 専門的事柄についての全社活動の推進 2) 環境対策委員会からの諮問事項への答申
6	環境事務局	1) 環境対策委員会の事務局 2) 環境管理責任者の補佐 3) 外部・内部監査の運営事務局 4) 環境関連法規及びその他の要求事項の入手と管理 5) 環境目標の原案作成 6) 環境活動実績の集計、全社取り纏め 7) 環境コミュニケーションの窓口 8) 環境活動レポートの作成

## 2. 環境経営方針

### 環境経営方針

エムテックスマツムラ株式会社は、半導体製造装置、金型、半導体デバイス生産において「地球環境問題は人類共通の課題である」との認識にもとづいて、企業として環境対策を経営の重要課題と位置づけし、地域社会と融和を図り、社員の主体性と啓発を通じて全従業員参加で、環境負荷の継続的な改善活動と汚染の予防を推進し、健全な地球環境の保全と豊かで快適な社会の実現に貢献します。

1. 当社の事業活動における環境負荷を低減するとともに、環境負荷にかかる経費の削減を行い経営の合理化と企業イメージの向上をはかり、企業の永続を目的に以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
  - ①地球温暖化防止(二酸化炭素排出量の削減)
  - ②廃棄物の削減(ゼロエミッションの維持)
  - ③水使用量の削減
  - ④化学物質の削減と適正管理
  - ⑤装置製品への環境配慮
2. 国・地方自治体が定める環境関連法規制およびその他の要求事項を遵守します。
3. 責任と権限を明確にした環境経営システムを構築し、継続的改善を行います。
4. 全従業員に対して環境教育を行い、環境経営システムの周知徹底と環境意識の向上に努めます。
5. 環境経営方針は、全従業員に周知し、社外からの要求に対し開示します。

2014年4月1日制定

2020年8月4日改訂

エムテックスマツムラ株式会社

取締役 遠藤 利行

### 3. 主な環境負荷の過去3年間の実績

項目	単位	区分	2020年度	2021年度		2022年度	
			実績値	実績値	前年比	実績値	前年比
CO2総排出量	kg-CO2/年	天童	716,679	737,949	103.0%	688,222	93.3%
		尾花沢	5,372,886	6,071,910	113.0%	6,367,920	104.9%
		全社	6,089,565	6,809,859	111.8%	7,056,142	103.6%
購入電力	kg-CO2/年	天童	700,899	723,132	103.2%	674,908	93.3%
		尾花沢	5,062,366	5,771,025	114.0%	6,116,143	106.0%
		全社	5,763,246	6,494,156	112.7%	6,791,051	104.6%
化石燃料	kg-CO2/年	天童	15,780	14,817	93.9%	13,314	89.9%
		尾花沢	310,521	300,885	96.9%	251,777	83.7%
		全社	326,301	315,702	96.8%	265,091	84.0%
廃棄物排出量	kg/年	天童	14,155	12,191	86.1%	14,700	120.6%
		尾花沢	63,674	70,181	110.2%	82,611	117.7%
		全社	77,829	82,372	105.8%	97,311	118.1%
一般廃棄物排出量	kg/年	天童	5,089	5,081	99.8%	5,994	118.0%
		尾花沢	11,693	10,948	93.6%	13,407	122.5%
		全社	16,782	16,029	95.5%	19,400	121.0%
産業廃棄物排出量	kg/年	天童	9,065	7,110	78.4%	8,706	122.4%
		尾花沢	51,981	59,233	114.0%	69,204	116.8%
		全社	61,046	66,343	108.7%	77,910	117.4%
水使用量	m <sup>3</sup> /年	天童	2,558	1,429	55.9%	1,282	89.7%
		尾花沢	70,432	99,851	141.8%	94,772	94.9%
		全社	72,990	101,280	138.8%	96,054	94.8%
化学物質使用量	kg/年	天童	—	—	—	—	—
		尾花沢	1,745	2,252	129.1%	1,557	69.1%
		全社	1,745	2,252	129.1%	1,557	69.1%

※CO2排出量は、東北電力HP公表2022年度の温対法実績報告に用いるCO2排出係数0.488 kg-CO2/kWhにより算出

## 4. 環境目標と実績

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	管理指標		2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
				目標	実績	目標	目標	目標
地球温暖化防止 (CO2排出量の削減)	エネルギー使用量加工 高原単位の削減  (結果系目標項目)	エネルギー使用量加工高原単 位【基準年度】:2021年度  《実績》0.8130 (kl/M¥) (天):0.4052、(尾):0.9279	目標水準	前年実績比1%削減		基準年度実 績比2%削減	基準年度実 績比3%削減	基準年度実 績比4%削減
			天童	0.4015	0.4456	0.3971	0.3930	0.3890
			尾花沢	0.9186	0.9397	0.9093	0.9000	0.8908
	電力消費量の削減  (手段系目標項目)	電力削減量 (MWh/月)	天童	1.1	0.8	1.2	1.3	1.3
			尾花沢	10.0	32.7	10.0	10.0	10.0
			全社	11.1	33.4	11.2	11.3	11.3
廃棄物の 削減	ゼロエミッションの維持	リサイクル率 (%)  〔ゼロエミッション(99%以上)の維持〕	天童	99.0	99.9	99.0	99.0	99.0
			尾花沢	99.0	99.8	99.0	99.0	99.0
			全社	99.0	99.9	99.0	99.0	99.0
節水	水使用量の削減	水使用量 【基準年度】:2021年度《実績》 (天)事業所トータル使用量:119m <sup>3</sup> /月 (尾)ウエハ-1枚当たりの水使用量: 0.98m <sup>3</sup> /枚	目標水準	21年度下期レベルの維持		基準年度実績レベルの維持		
			天童	180(m <sup>3</sup> / 月)	107	119	119	119
			尾花沢	8,500(m <sup>3</sup> /月) 1.2(m <sup>3</sup> /枚)	8,321 0.98	0.98	0.98	0.98
化学物質 の適正管 理	PRTR法対象管理指定 化学物質の適正管理	管理指定化学物質使用量 (kg/年)	メチルナフレン	—	807	PRTR法対象の社内管理指定化学物質の適正使用、 適正管理 (期首・期末在庫量、購入量、排出・移動 量、届出の遵守)		
			鉛	—	750			
			合計	—	1,557			
製品への 環境配慮	製品への環境配慮	環境配慮テーマ完結件数	目標	1件	1件	1件	1件	1件
			備考	新規装置設計時の過去図面流 用率を上げる				

※ゼロエミッションの社内定義は、年間のリサイクル率98.0%以上としています。

## 5. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

達成状況:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

拠点	主な取組み計画	達成状況	取組み結果	次年度の取組み内容
	<b>CO2排出量加工高原単位の削減(電力消費量の削減)</b>			
天童	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発棟2階クリーンルームエアコン更新</li> <li>第2工場 倉庫エリアエアコン更新</li> <li>照明のLED化</li> <li>加工設備用コンプレッサー移設</li> <li>開発棟揚水ポンプの廃止</li> </ul>	○	(天)関係は、設備投資が厳しい中、照明LED化を実施。(尾)関係は、高効率タイプのコンプレッサー導入、空調機更新、空調設備の運用見直し、第5工場フロア照明LED化を実施。(尾)は削減目標を達成し、(天)では未達であったが、全体では削減量目標11.1MWh/月に対し実績33.4MWh/月と大幅達成となった。	前年度施策の維持管理・強化を図ると共に、「照明のLED化」等に取り組む。
尾花沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>高効率タイプコンプレッサー新規導入</li> <li>第3工場/第5工場 空調器更新</li> <li>第1工場クリーンルーム空調の停止</li> <li>第5工場切断、選別 フロアのLED化</li> </ul>	○	エネルギー使用量加工高原単位は、目標0.8049kl/M¥に対し実績0.8472kl/M¥と達成率95%であった。	前年度施策の維持管理・強化を図ると共に「空調機更新」「設備の運用見直し」等に取り組む。
全社	<b>ゼロエMISSIONの維持</b>		リサイクル率99.0%目標に対し99.85%と目標を達成することができた。達成率100.9%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出状況とリサイクル率のモニター及び環境パトロールによる維持管理</li> </ul>	◎		維持管理を継続する。
	<b>水使用量の削減</b>			
天童	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年施策の維持管理 (過去の月毎実績と照合し異常検出時原因調査)</li> </ul>	◎	水使用量目標210m <sup>3</sup> /月に対し、実績119m <sup>3</sup> /月と達成率176%であった。	維持管理を継続する。
尾花沢	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年施策の維持管理 (過去の月毎実績と照合し異常検出時原因調査)</li> </ul>	◎	水使用量目標8,500m <sup>3</sup> /月に対し達成率108%であった。ウエー1枚当たりの使用量は達成率132%であった。	維持管理を継続する。
尾花沢	<b>PRTR法対象管理指定化学物質の適正管理</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定化学物質使用量管理</li> </ul>	○	規定に従い使用量管理を実施した。 ・メチルナフレン807kg/年 ・鉛750kg/年	運用管理を継続する。
天童	<b>製品への環境配慮</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規装置設計時の過去図面流用率を上げる</li> </ul>	○	新規装置設計時の過去図面流用率2%	製品環境配慮テーマを選定し取り組む。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

◆当社に関する環境関連法規等の遵守状況は以下の通りであり、昨年1年間('22年4月～'23年3月)で法令違反等はありませんでした。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
大気汚染防止法	特定施設の届出、ばいじん濃度等の測定	○
水質汚濁防止法	特定施設の届出、規制基準の遵守	○
浄化槽法	設置届出、保守点検・清掃、法定検査の実施	○
水道法	受水槽の清掃、定期水質検査の実施	○
土壌汚染対策法	土壌測定、土地利用状況報告、形質の変更届出、土地の利用方法変更届出	○
廃棄物処理法	委託業者との委託契約、マニフェストの交付と管理、廃棄物の適正保管等	○
毒物及び劇物取締法	盗難・漏洩防止処置(施錠管理、容器表示、置場表示など)	○
PRTR法	指定化学物質の移動量を把握し、一定基準以上であれば届出	○
高圧ガス保安法	特定貯蔵所の設置届出、位置・構造等の変更の場合の届出	○
消防法	危険物施設の設置許可、危険物保安監督者の選任・届出、少量危険物貯蔵の届出など	○
工場立地法	敷地・生産施設・緑地・環境施設等の面積が変更となる場合の届出	○
省エネルギー法	中長期計画書・定期報告書の提出、エネルギー管理統括者・管理企画推進者の選任など	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の機器の点検、整備時におけるフロン類の充填・回収委託など	○
騒音規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	○
振動規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	○



# 7. 代表者による全体評価と見直しの記録

環境管理責任者の報告及び改善への提案				代表者(統括環境管理責任者)による見直し																													
<b>[取り組み状況の評価結果]</b> ①環境関連法規制等の遵守状況(遵法性定期評価表による) ・'23年4月21日に定期評価を実施した結果、遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・特になし。 ③内部監査の結果 ・'23年3月に内部監査を実施した。監査実施結果、1件の指摘事項があり、また、3件の要望事項が寄せられたが、フォローアップ監査で全てクローズしている。 ④前回の代表者の指示事項への対応 ・「環境に影響するような事が色々出てきている中で、この対策が本当に環境に配慮した対応であるのかといった場面が多くなっていくと思う。そのような中で、委員会メンバーで協力しながら対応していきたいと思う。協力をお願いする」という指示があった。法令、条例等に関するものについては関係する諸団体へ確認しながら、また、外部との交流において対応に関する情報を入手した場合は委員会で取り上げ対応について協議しながら対応を検討し進めていく。  <改善への提案> ・特になし。				<b>[環境方針]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  ・現状の環境方針を継続する。																													
<b>[目標・環境活動計画の達成状況]</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー使用量加工高原単位</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標達成率95%。世界情勢の不安定により加工高回復が進まない。</td> </tr> <tr> <td>電力削減量</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標達成率301%。コンプレッサ更新、空調機更新等による効果大。</td> </tr> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標達成率100.3%。環境パトロールによる監視の強化。</td> </tr> <tr> <td>水使用量</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>総量目標達成率103%。(尾)原単位目標達成率122%</td> </tr> <tr> <td>指定化学物質管理</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>PRTR法対象化学物質の適正使用、適正管理と取扱量把握実施。</td> </tr> <tr> <td>製品への環境配慮</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>新規装置設計時の過去図面流用率2%</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	エネルギー使用量加工高原単位	○	○	目標達成率95%。世界情勢の不安定により加工高回復が進まない。	電力削減量	○	○	目標達成率301%。コンプレッサ更新、空調機更新等による効果大。	リサイクル率	○	○	目標達成率100.3%。環境パトロールによる監視の強化。	水使用量	○	○	総量目標達成率103%。(尾)原単位目標達成率122%	指定化学物質管理	—	○	PRTR法対象化学物質の適正使用、適正管理と取扱量把握実施。	製品への環境配慮	○	○	新規装置設計時の過去図面流用率2%	<b>[目標・活動計画]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  ・'23年度の環境目標は、4月7日付け制定した全社環境目標設定表の内容を適用する。 ・活動を実施していく中で、管理指標その他で現状との乖離や不合理が生じた場合は、管理のサイクルをきちんと回し是正のアクションをとること。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																														
エネルギー使用量加工高原単位	○	○	目標達成率95%。世界情勢の不安定により加工高回復が進まない。																														
電力削減量	○	○	目標達成率301%。コンプレッサ更新、空調機更新等による効果大。																														
リサイクル率	○	○	目標達成率100.3%。環境パトロールによる監視の強化。																														
水使用量	○	○	総量目標達成率103%。(尾)原単位目標達成率122%																														
指定化学物質管理	—	○	PRTR法対象化学物質の適正使用、適正管理と取扱量把握実施。																														
製品への環境配慮	○	○	新規装置設計時の過去図面流用率2%																														
<改善への提案> ・特になし。				<b>[その他]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  ・特になし。																													
<b>[周囲の変化の状況]</b> ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの環境に関する苦情や要望はなかった。 ②環境関連法規制等の動向他 ・大気汚染防止法改正に伴い追加変更箇所を環境関連法規制等一覧表に反映させる。 ・化管法改正に伴い追加変更箇所を環境関連法規制等一覧表に反映させる。 ・石綿障害予防規則改正に伴い追加変更箇所を環境関連法規制等一覧表に反映させる。 ・省エネ法改正に伴い追加変更箇所を環境関連法規制等一覧表に反映させる。  <改善への提案> ・特になし				<b>[総括]</b> 全社では電力消費量が昨年比で上回り、加工高は昨年比で下回った為、原単位で未達となった。会社では、年度毎に加工高原単位1%削減を目標としている為、一部投資が関係して電力削減施策がなかなか進まない所もあるが、その中でも皆さん協力して目標達成に向け活動推進をお願いする。 冬季に取り組んだ節電チャレンジキャンペーン同様、夏場及び次の冬場に節電に関するキャンペーンの参加要請が契約電力会社より入る可能性が高い。両事業所の省エネ部会が中心となって、節電・省エネの推進をお願いする。																													